



ビエント結成 20周年記念 コンサート



吉川万里
語り・ケーナ・オカリナ・
サンポーニャ・他

熊 本県八代生まれ。大学時代からプロのジャズバンドでトロンボーン奏者として活躍していたが南米のfolkloreグループ「コンドルカンキ」とのジョイントコンサートをきっかけに、アンデス民族楽器に魅了される。その後アルゼンチン在住のレネ・カレアーガ氏に師事。1996年に南米音楽の旅を経て、遅咲きながら40歳でプロのアンデス民族楽器奏者に転向。アンデスの自然のもつ素晴らしいと、生まれ故郷に近い「阿蘇」を活動の拠点と定める。若き日にバンドで培った技量は、他のアンデス民族楽器奏者とは異なる響きを醸し出す。また彼の熊本弁による、とつとつとした何気ない語りは単に楽曲と楽曲のつなぎではなく、そこに集うものがいつの間にか励まされ心のよもやとした霧を吹き飛ばしてしまう。そんな彼の語りなくしては、ビエントサウンドは完成しないと言っても過言ではない。



竹口美紀
作曲・編曲・
シンセサイザー・
パーカッション

東 京に生まれた彼女は両親が故郷・熊本に居を構えるのに伴い熊本に移り住む。熊本音楽短期大学(現・平成音楽大学)卒業後はヤマハ音楽振興会音楽教育システム講師を経て、作曲・演奏家として独立する。阿蘇を愛し西原村に移り住み、熊本の自然をテーマに作曲を続ける。日常生活の中で自然を体感。依山の雨風に揺れるすすき達と踊り、春を迎えるための阿蘇の野焼きを音符にし、耳を澄まし心を傾けて過ごした阿蘇の一年が組曲を生み出す。畑の虫食いの野菜を食べながら自然に感謝する。そんな自然人の彼女の作曲からビエントサウンドは始まる。そして音大で電子音楽を基礎から学んで開花した音楽的センスで踊るようにシンセサイザーを操る。



チームビエントパーカッション部 T.V.P

トランスコンティネンタルデュオ 8/11 熊本ゲスト

イゴール・ゴルガー(ギター奏者、エンジニア) 1974年生まれ。ロシア・モスクワ出身。幼少の頃より、父親にギターを学ぶ。高校はモスクワの理系有名校を卒業し、17歳で両親と共にアメリカ・ボストンに移住。9歳で楽器製作の本を読んで以来、ギターを作りたいという夢があった。その夢を実現するため、ボストン音楽院に進学。現在、エンジニアとして働くかわら、演奏活動を行う。

梶本ひろ子(フルート奏者) ボストン在住フルート奏者。大阪音楽大学卒業後、ボストン音楽院卒業。帰国し、フリーランスとして、リサイタルやスクールコンサート、結婚式から野外ライブなどのイベントでの演奏、ヤマハ音楽振興財団の講師として、後進の指導にあたる。2006年に、熊本へ。ほぼ10年間、熊本で過ごし、2015年9月に、ボストンに戻る。



むたゆうじ 8/19 八代ゲスト



熊本県水俣市出身。シンガー・ソングライター。一方、日本一小さな高齢者グループホーム「喫茶茶」を八代市に開設し18年目。資格取得:介護支援専門員、保育士、社会福祉主事



上野 敬 8/19 八代ゲスト

1958年生まれ。録音、PAなどの音響関係の仕事をしつつ、平成3年より社団法人大正琴協会に所属し、名古屋に本部を置く琴修会の講師となる。熊本県内全域で教室、演奏活動を行なっている。現在、琴修会熊本中央支部支部長、平成音楽大学音楽制作コース講師。

石橋 正一 8/11 熊本ゲスト

1953年、熊本県阿蘇出身(現在:熊本市在住)65歳。ギター演奏家をめざし、日本ギター音楽学校へ進学。アンデスfolkloreグループのギター奏者を経て、ソロ活動を開始。NHKテレビ金曜ライブや、RKB毎日放送ドキュメンタリー番組「ムーブ」「もう一度弾きたい」、FMラジオ、NHK美術館コンサート等に出演。現在、熊本、福岡を拠点に、ギター教室、各種イベント、学校及び病院コンサート等行っている。



福嶋 由記 (ソプラノ) 8/11 熊本ゲスト

熊本音楽短期大学研究生声楽ソロコース修学。声楽を岩津整明、(故)高橋嘉子、(故)西内玲、小林なほみ、南迪子、出口正子、イタリアミラノにてリナ・ヴァスタ女史、佐久間伸一の諸氏に師事。熊本県新人演奏会出演。平成29年度第52回熊本県文化懇話会新人賞受賞。寛仁親王杯全国童謡歌唱コンクールにて寛仁親王牌受賞。旭川音楽祭第1回中田喜直記念コンクール金賞など、その他多数受賞。オペラ作品では「夕鶴」熊本城築城400年オペラ「南風吹けば楠若葉」「蝶々夫人」「リゴレット」「ドン・カルロ」「椿姫」新作オペラ「笛姫」「魔笛」「ヘンゼルとグレーテル」「細川ガラシャ」「フィガロの結婚」「オテロ」等で主演。「レクイエム」「第九」等でソリストをつとめる。TBS特番「又吉直樹〜神の島に行く〜」エンディング曲担当(平成29年世界文化遺産登録)長崎県国際音楽祭、北原白秋生誕祭、スペシャルオリンピックス、陸上自衛隊西部方面音楽隊、熊本県警音楽隊との共演、施設慰問、スクールコンサート、ソロ活動の傍ら、審査委員、合唱指導等後進の指導も行う。音楽雑誌「ハンナ」に〜熊本が生んだオペラの名花 福嶋由記〜として紹介された。現在:熊本シティオペラ協会会員、熊本県文化懇話会会員、声楽教室「ベルスオー」代表



川原 一紗 8/11 熊本ゲスト

熊本県玉名市出身、在住のシンガーソングライター。民族楽器演奏家である藤川潤司とともに「音の和music」のユニットで日本全国、海外において演奏活動を精力的に続けている。<主な活動履歴>2017、2018年水俣もやい音楽祭作曲の部2年連続入賞。マラソンの父「金栗四三」をテーマとした楽曲「希望の道」が「金栗杯玉名ハーフマラソン」にて使用される。オリジナルアルバム「はじまりの音」をリリース。全国ツアーを行う。2015年「又吉直樹神の島に行く」のオープニング曲を歌唱(Vientoさん作曲)河島英五音楽賞2010入賞。Music Revolution Song Contest 2010熊本大会優勝。http://kazusajunji.com/

熊本県玉名市出身、在住のシンガーソングライター。民族楽器演奏家である藤川潤司とともに「音の和music」のユニットで日本全国、海外において演奏活動を精力的に続けている。<主な活動履歴>2017、2018年水俣もやい音楽祭作曲の部2年連続入賞。マラソンの父「金栗四三」をテーマとした楽曲「希望の道」が「金栗杯玉名ハーフマラソン」にて使用される。オリジナルアルバム「はじまりの音」をリリース。全国ツアーを行う。2015年「又吉直樹神の島に行く」のオープニング曲を歌唱(Vientoさん作曲)河島英五音楽賞2010入賞。Music Revolution Song Contest 2010熊本大会優勝。http://kazusajunji.com/